



猪苗代の夏の夜空を彩る花火

花火と音楽の競演

いなわしろ花火大会

いなわしろ花火大会は8月13日、町運動公園で開かれ、約3000発の花火が夜空を鮮やかに彩りました。会場には出店が立ち並び、大勢の観客でにぎわいました。今年の花火大会のテーマは「未来」。東日本大震災からの復興と子どもたちの輝く未来に祈りを込め、音楽に合わせて尺玉やスターメインなどが次々に打ち上げられました。大迫力で打ち上げられる花火に会場を訪れた大勢の観客からは大きな歓声が上がりました。

花火打ち上げ前には「それいけ！アンパンマンショー」やひでよくんらによるご当地キャラステージが繰り広げられ、訪れた家族連れなどが多彩なステージイベントを楽しみました。



ご当地キャラによるステージパフォーマンス

壮年ソフトボールで優勝

県民スポーツ大会会津地域大会

県民スポーツ大会会津地域大会は8月6日、柳津町をメイン会場に開かれ、卓球やソフトテニスなど6種目で争われました。このうち、40歳以上の壮年ソフトボールに北会津地区代表として出場した猪苗代チームは、1回戦から打線が爆発。順調に駒を進めると、決勝ではこばんげ倶楽部と対戦し、13対3のスコアで優勝しました。加藤寿浩監督は「10月に開催される市町村対抗ソフトボール大会でも頑張ります」と話しました。



見事優勝を果たした猪苗代チームのメンバー

震災復興に役立てて

東京都の東深沢中学校などが町に寄付

東京都世田谷区の東深沢中学校と同校PTA、東深沢小学校、等々力小学校は7月31日、災害復興支援協力金として町に100,000円を寄付しました。東深沢中学校生徒会役員で2年生の星野そらさんと下田かのんさん、長谷川智也校長は同日、町役場を訪れ、寄せられた善意を前後公町長に届けました。前後町長は「毎年寄付をいただきありがとうございます。有効に活用させていただきます」と感謝を述べました。



前後町長に善意を届ける星野さん(左から2人目)ら



前後町長から感謝状を受けるセイラムさん

外国語指導助手が交代

外国語指導助手歓送迎会

任期満了に伴い外国語指導助手を退任するフォーチュネイト・セイラム・アドゥクボさん(ガーナ出身)と新たに赴任するヴァハラ・ジェシカ・マーガレットさん(米国出身)の歓送迎会は8月1日、町役場で開かれました。前後公町長が感謝と歓迎のあいさつを述べ、セイラムさんに感謝状と記念品を贈りました。

セイラムさんは3期3年間にわたり、町内の中学校で英語授業の補助やスピーチコンテストへの協力などに従事。授業だけでなく学校行事も積極的に参加し、中体連では会場に駆け付けて生徒を応援しました。また、日本語の習得や日本文化の理解に努め、磐梯まつりや地元太鼓サークルに参加するなど、地域の人たちから愛される存在でした。セイラムさんは「猪苗代町がガーナの東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに選ばれたことが一番の喜びでした。今後も猪苗代町とガーナの絆がより深まるように努力していきたいです。猪苗代町で学んだことを大切にしていきたい」とあいさつを述べました。

引き続き前後町長と宇南山忠明教育長からジェシカさんに辞令が交付されました。ジェシカさんは「日本での新しい生活にワクワクしています。早く皆さんと親しくなりたいです」と話しました。



セイラムさんと握手を交わすジェシカさん(左から2人目)

火災予防の理解を深める

町婦人連絡協議会・町婦人消防連絡協議会合同研修

町婦人連絡協議会・町婦人消防連絡協議会合同研修は7月24日、町農村環境改善センターで開かれ、両会の会員ら約30人が参加しました。研修では、戸倉勉猪苗代消防署副署長が猪苗代消防署管内の消防概況について説明。続いて日本防災協会の酒井浩三監査役が「身の回りの防災化による防火の推進」と題して講演しました。参加者は、防災製品に関する知識や火災予防のための環境づくりの大切さなどについて理解を深めました。



火災予防への理解を深める参加者ら

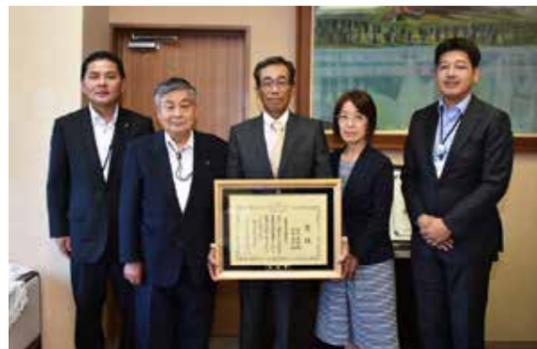
恒久平和の願いを込めて

町戦没者追悼式

町戦没者追悼式は8月7日、学びいなで行われ、町遺族連合会会員や関係者らが第二次世界大戦で犠牲になった戦没者800余名の冥福を祈りました。式では、参列者全員で黙とうを捧げた後、前後公町長が「かつての戦争体験が年々風化しつつある中、再び悲しみの歴史を繰り返すことなく、平和と繁栄の維持発展に努めます」と式辞。小谷尚克県会津保健福祉事務所長、長沼一夫町議会議長が追悼の辞を述べ、参列者が慰霊に献花しました。



恒久平和への祈りをささげ献花する前後町長



受賞を報告する義明さん(中央)と福子さん(右隣)

松本さんご夫妻が「農業十傑」に 県農業賞受賞報告

「農業十傑」として知られる第58回県農業賞・農業経営改善部門を受賞した松本義明さん、福子さんご夫妻(幸野)は9月1日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告しました。松本さんは、トマト栽培で脇芽に実を付ける側枝利用技術など高い生産性技術を導入しました。松本さんは「受賞は関係者の皆様のご協力のおかげです。JA会津よつばばんだいトマト生産部から次の受賞者ができるよう、人材育成にも力を入れます」と話しました。

鉄人レースに540人が参加 第19回うつくしまトライアスロンinあいつ

「第19回うつくしまトライアスロンinあいつ」は8月27日、猪苗代湖天神浜をスタートし、会津若松市の会津大学でフィニッシュするコースで開かれ、県内外から過去最多となる540人が参加しました。参加した選手は、スイム1.5^{キロ}、バイク40^{キロ}、ラン10^{キロ}の計51.5^{キロ}のコースで体力の限界に挑戦。過酷な鉄人レースに臨む選手たちに、応援に駆けつけた観戦者からは盛んな声援が送られました。



体力の限界に挑戦する選手



「いなわしろ天のつぶ」をPRする関係者ら

いなわしろ天のつぶを広くPR ジャパンインターナショナルシーフードショー2017

「ジャパンインターナショナルシーフードショー2017」は8月23～25日、東京ビッグサイトで開かれ、町とJA会津よつば猪苗代稲作部会が中心となり、寿司に関するブース「すしEXPO」に出展しました。寿司米として人気の高い「いなわしろ天のつぶ」の試食や販促活動を行いました。参加した生産者の古川剛さんは「試食ではおいしいという評価が得られ、今後の販路拡大に手ごたえを得ることができました」と話しました。

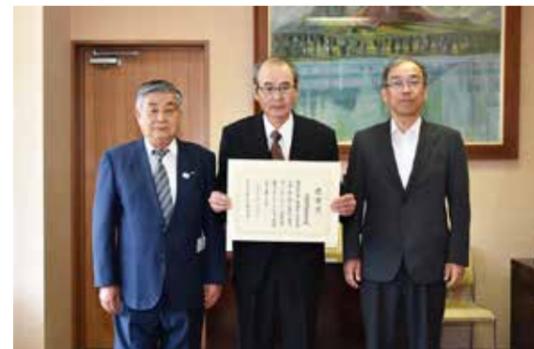
東軍殉難者の御霊安らかに 東軍殉難者慰霊祭

戊辰戦争の激戦地、母成峠の戦いで戦死した東軍殉難者の慰霊祭は8月21日、母成慰霊碑前で執り行われました。

慰霊祭には母成峠弔霊義会の会員や殉難者の子孫などが出席。読経の後、母成峠弔霊義会の橋本彦一会長が祭文を読み上げ、前後公町長が弔辞を述べました。出席者が焼香し、殉難者の冥福を祈りました。慰霊祭後、吾妻小4年生16人が白虎隊の剣舞を奉納し、殉難者の霊を慰めました。



白虎隊の剣舞を奉納する吾妻小の児童



感謝状を受けた古川組合長(中央)ら

長年の納税貯蓄組合活動に感謝 優良納税貯蓄組合地方振興局長感謝状贈呈式

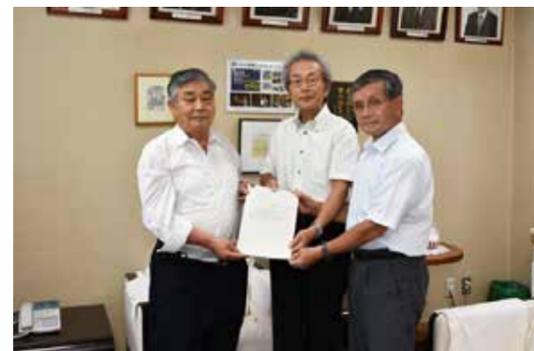
優良納税貯蓄組合地方振興局長感謝状贈呈式は8月22日、町役場で行われ、戸田光昭会津地方振興局長が受賞した土田納税貯蓄組合の古川学組合長に感謝状を手渡しました。戸田振興局長が「今後とも納期限内完納にご協力をお願いします」とあいさつ。前後公町長が「昭和31年から61年間の長きにわたる活動に感謝します」と祝辞を述べました。古川組合長は「受賞は地域の皆さんの税に対する高い意識のおかげです」と話しました。

吉田和真選手が全国制覇 インターハイ新体操競技男子個人

山形市で8月11、12の両日開かれた全国高等学校総合体育大会新体操競技男子個人で優勝した本町出身の吉田和真選手(青森山田高校3年、猪苗代中卒)は8月21日、町役場を訪れ、前後公町長と宇南山忠明教育長に優勝を報告しました。吉田選手は「自分の演技に集中し、個人優勝という結果を残すことができるとてもうれしいです。10月に行われる全日本新体操選手権大会でも好成績を残せるよう頑張ります」と話しました。



左から前後町長、吉田選手、父の博之さん、宇南山教育長



前後町長に意見書を手渡す佐賀代表監査委員(中央)ら

適正かつ計画的な財政運営を 平成28年度決算に係る意見書を提出

町監査委員の佐賀要一代表監査委員と佐藤英一郎監査委員は8月25日、前後公町長に平成28年度決算審査に対する意見書を提出しました。8月1日から4日まで審査を実施し、一般会計、特別会計および病院事業会計、水道事業会計について関係帳簿や証書類と照合した結果、各会計ともに誤りのないものと認められました。今後も適正かつ計画的な財政運営が図られるよう努力されることを望み、意見としました。

磐梯山の麓にスマイルマークを スマイルとうほくプロジェクト

福島民報社など被災3県の新聞社が展開している「スマイルとうほくプロジェクト」のフラワーアート制作は8月6日、町営磐梯山牧場で行われ、町内外から約50人が参加しました。「スマイルとうほくプロジェクト」は、震災後の東北に笑顔を広げ、その笑顔を全国に広げようと毎年行われています。

参加者は、直径約50^{センチ}のスマイルマークをかたどって白線を引いた後、ソバの種を丁寧にまきました。



丁寧にソバの種をまく参加者